# 決算の状況

## Ⅰ　決算概況

(1)　平成23年度一般会計の決算内容についてみる

と、歳入決算額は３兆560億円で、前年度におけ

る減債基金等の取崩しに伴う繰入金の影響がな

くなったこと等により、8,608億円、率にして

21.98％減少している。

(2) 一方、歳出決算額は３兆377億円で、前年度

　 に基金借入金を解消するために支出した補助費

等の影響が今年度はなくなったこと等により、

8,470億円、率にして21.80％減少している。

(3) なお、前年度において実施された減債基金等

の取崩し及び基金借入金の解消に伴う処理を除

いたベースで比較すると、歳入決算額は2,020

億円、率にして6.20%減少しており、歳出決算額

は1,841億円、率にして5.71%減少している。

(4) 形式収支は、183億円の黒字を計上し、６年連

続の黒字となった。形式収支から翌年度へ繰り越

すべき財源を差し引いた実質収支も、105億円の

黒字となったものの、前年度に比べ、152億円減

少している。

(5) 一般会計と特別会計（Ⅱ　３ 特別会計　参照）

の額を合算したものから地方公営企業会計に係

る収支を除いた普通会計ベースでの実質収支は、

124億円となっており、前年度に引き続き赤字を

回避している。財政構造の弾力性を示す指標であ

る経常収支比率は、繰入金の減少、補助費等の減

少等により、前年度より5.7ポイント上昇し、

97.0％となった。